

建設発生土 広域利用事業  
市川土壤再利用センター  
(汚染土壌中間処理施設)



# 市川土壌再利用センター施設概要

## ■本施設における5つのメリット

### ①東関東における位置的優位性

- ・陸上運搬距離縮減による経済性の向上

### ②建設発生土と汚染土壌を受入可能

- 〈保管容量〉建設発生土：7,540㎡
- 汚染土壌：9,023㎡

### ③大型船舶による大量輸送

- ・汚染土壌にも対応した岸壁 (-5m)
- ・2000t級船舶まで離着岸可

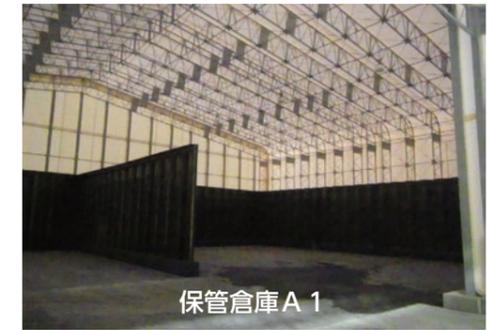
### ④24時間の受入体制

- ・国道および高速道路に隣接する工業専用地域で24時間の受入が可能

### ⑤ETCシステムによる搬入土砂のトレーサビリティ体制

- ・初回入場時の運搬車両の登録で、搬入土砂の荷下し場所の管理が可能

## 施設写真



保管倉庫 A 1

搬入した汚染土壌の保管場所として利用



保管倉庫 C

(汚染土壌処理施設)

汚染土壌の異物除去と含水率調整を実施



仮置き場 D

(汚染土壌用積出岸壁)

汚染土壌の船舶荷役用ヤードとして利用



処理プラント

(保管倉庫 A)

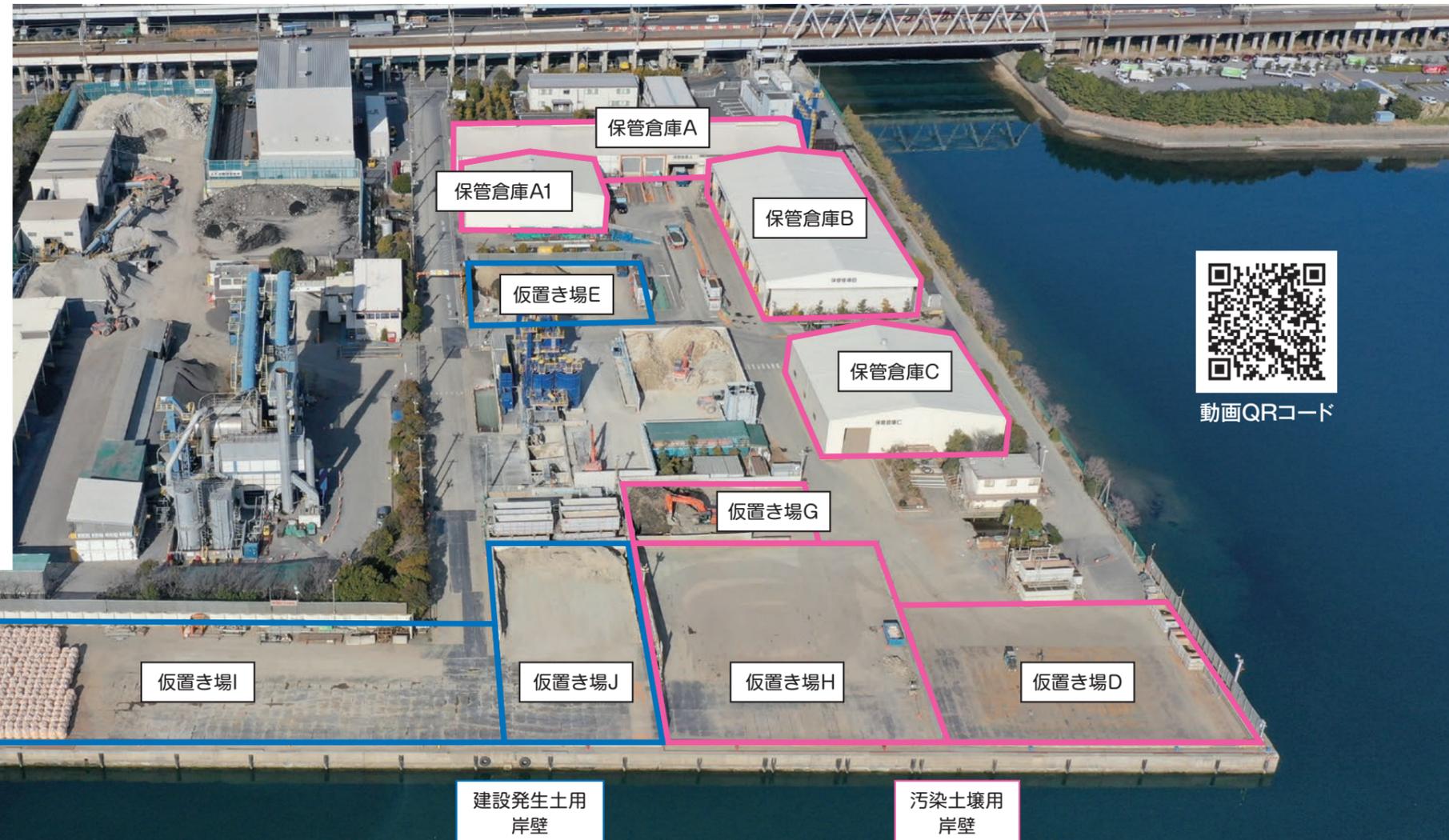
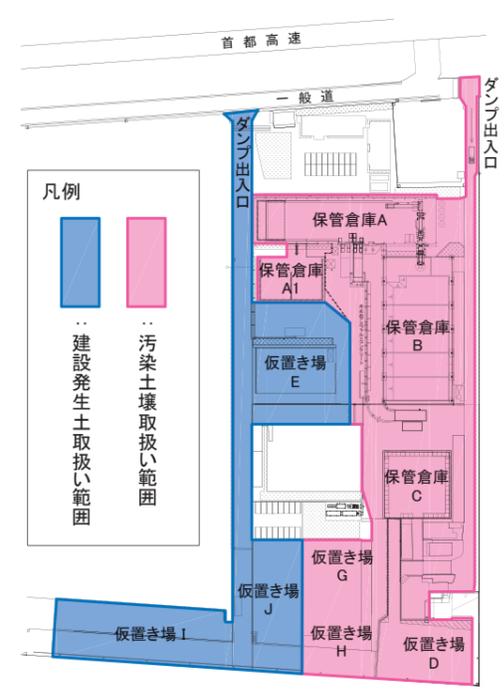
分別等処理と不溶化処理を実施



ETCシステム

管理画面

ETCシステムによる搬入土砂の一元管理



動画QRコード

### ■積出岸壁

- 建設発生土用：104m(-5m 岸壁)
- 汚染土壌用：86m(-5m 岸壁)

### ■搬入土保管容量

- 建設発生土用：7,540㎡  
(仮置き場 E, I, J 合計)
- 汚染土壌用：9,023㎡  
搬入土 2,389㎡(保管倉庫 A, A1, C 合計)  
処理土 6,634㎡(保管倉庫 B, C 仮置き場 D, G, H 合計)

### ■汚染土壌処理施設の構造

- 施設(1)：保管倉庫A ①搬入土ストックヤード ②処理ヤード  
③分別・薬剤混合プラント1基 ④薬剤サイロ4基
- 保管倉庫A1 ①搬入土ストックヤード
- 保管倉庫B ①処理土仮置・養生ストックヤード ②仕切り壁(1区分 1,000㎡保管可能)
- 施設(2)：保管倉庫C ①搬入・処理土ストックヤード ②処理ヤード ③分別バックホウ1基

### ■安全・環境対策

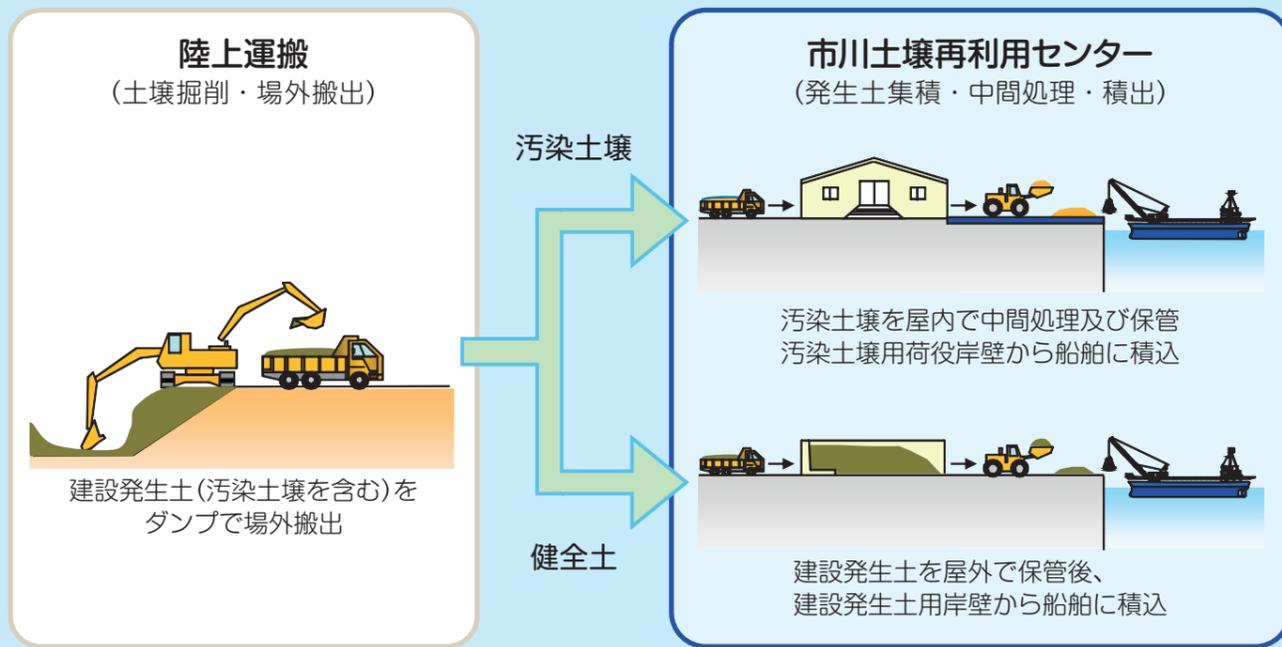
- 排水処理装置(重金属類対応)
- ETC車両運行管理システムによる搬入ダンプトラックの場内誘導

# 建設発生土広域利用事業

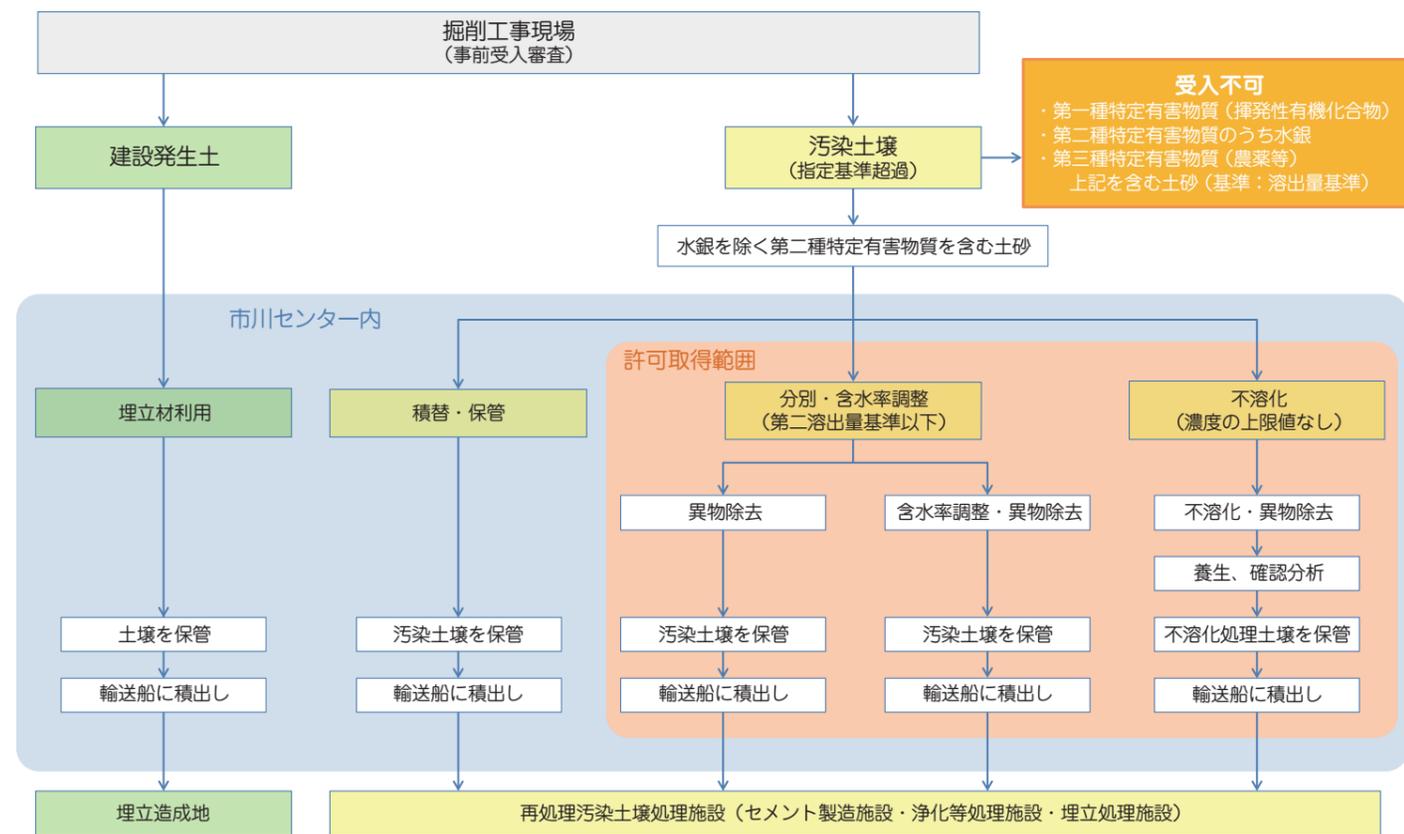
五洋建設市川事業所では、建設発生土を受入れ、海上輸送で埋立用材などに広域利用してきました。平成22年4月施行の土壌汚染対策法の改正を機に、法改正に対応して施設を拡充し、現在は市川土壌再利用センターとして汚染土壌処理業の許可を取得しています。

当センターは、建設発生土および汚染土壌の広域利用を推進し、限りある資源である土の有効活用を図っています。

## 建設発生土広域利用のイメージ



# 建設発生土受入フロー図



## 汚染土壌処理施設許可項目

(許可番号 第 07810010004 号)

施設種別	許可内容	受入れ可能な汚染状態	再処理施設	保管容量
施設<1> 100m <sup>3</sup> /h (保管倉庫A)	分別等処理施設 (異物除去)	第二種特定有害物質(水銀を除く) 第二溶出量基準以下	セメント製造施設 浄化等処理施設 埋立処理施設	9,023m <sup>3</sup> (受入容量含む)
	分別等処理施設 (含水率調整)	第二種特定有害物質(水銀を除く) 第二溶出量基準以下		
	浄化等処理施設 (不溶化)	第二種特定有害物質(水銀を除く) 濃度の上限値なし		
施設<2> 86m <sup>3</sup> /h (保管倉庫C)	分別等処理施設 (異物除去・含水率調整)	第二種特定有害物質(水銀を除く) 濃度の上限値なし		

## 第二種特定有害物質受入基準

(溶出量 単位: mg / ℓ 以下)

受入施設	項目	カドミウム	六価クロム	シアン	セレン	鉛	砒素	ふっ素	ほう素
分別等処理施設	施設<1>	0.3	1.5	1.0	0.3	0.3	0.3	24	30
分別等処理施設	施設<2>	搬出先の再処理施設受入基準を満たすもの							
浄化等処理施設	施設<1>	不溶化処理によって搬出先の再処理施設受入基準を満たすもの							

## 市川合材センター

### アスファルト合材事業



### がれき類中間処理事業



### ダンプ事業



### Group Business



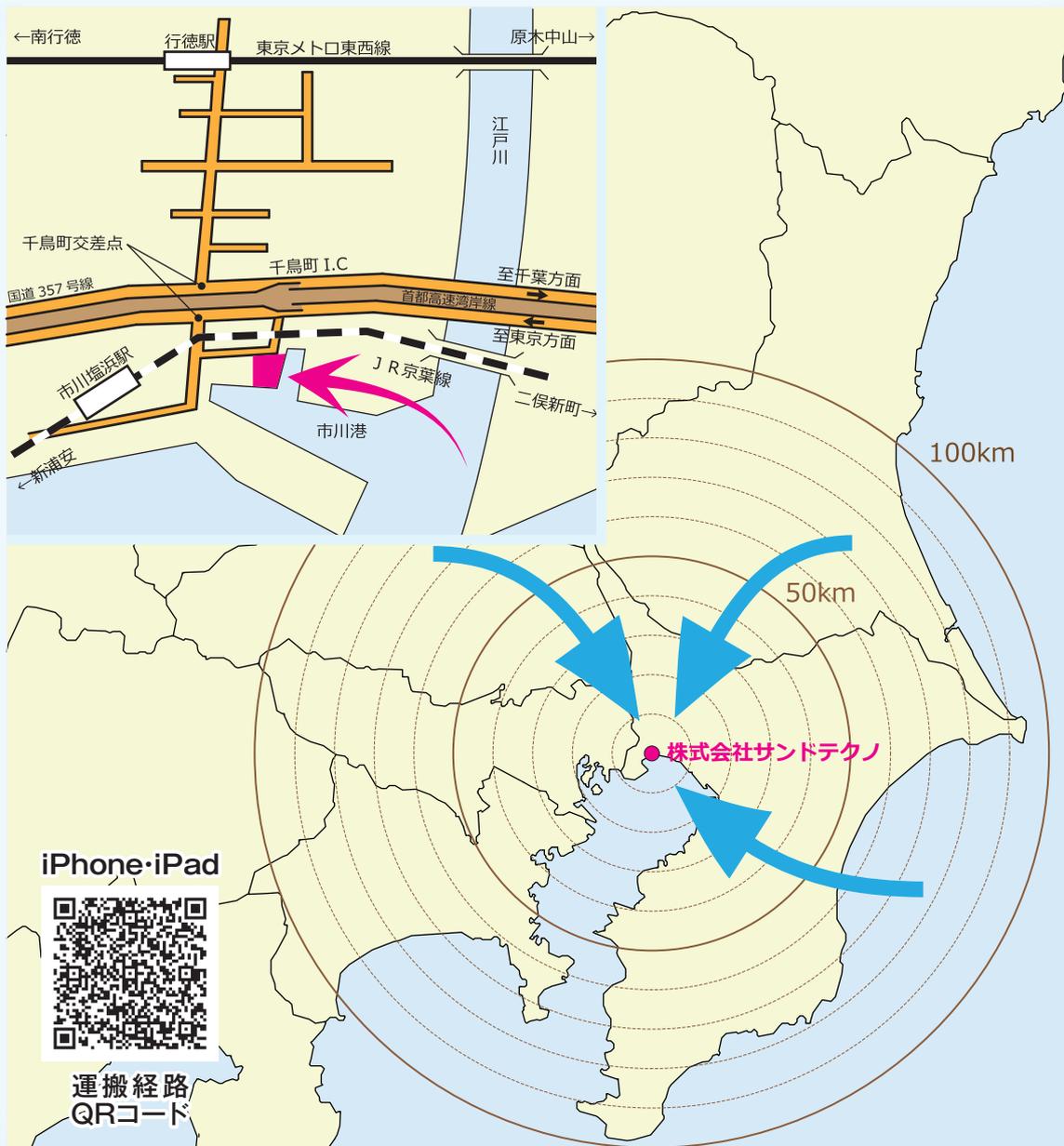
### 吸水性泥土改質材『ワトル』

製紙汚泥焼却灰を加工し、吸水性の高い泥土改質材として建設工事等に供給いたします。泥土の水分 (water) を吸収する (とる) ことから製品名を「ワトル」と名づけ、廃棄物のリサイクルを推進しています。



### 事業内容

- ・ 土壌調査
- ・ 水質検査
- ・ 廃棄物検査
- ・ 水底土砂の分析
- ・ 環境コンサルティング



【交通のご案内】

- 自動車 東京方面から／首都高速湾岸線千鳥町出口からの所要時間約5分  
千葉方面から／首都高速湾岸線湾岸市川ICからの所要時間約10分
- 電車 JR京葉線市川塩浜駅より徒歩約15分

 **株式会社サンドテクノ 市川土壌再利用センター**

〒272-0126 千葉県市川市千鳥町14番地

TEL: 047-307-9260 FAX: 047-307-3129